

小5 国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 80.6%

ねらい：漢字の正しい読み書きがしっかりとできるかを問う。

分析と対策：「借りる」の「借」は、「借りる」と「貸す」の漢字の使い分けがまちがいがやすいものです。こういう漢字の区別には、特に注意してください。

2 漢字の部首 60.6%

ねらい：漢字の部首についての基本的な知識を問う。

分析と対策：形が似ている「がんだれ」と「まだれ」のちがいをしっかりと覚えましょう。また、「きへん」と「のぎへん」や、「にんべん」と「ぎょうにんべん」のちがいについても確かめておきましょう。たとえば、「さんずい」は水に関する漢字の部首になるなど、一つ一つの部首には、それが表す意味があるので、それぞれの部首について、出題されているもののほか、どのような漢字があるかを調べておくとよいでしょう。

3 言葉の知識 93.3%

ねらい：形が変わる言葉（活用する言葉）についての知識を問う。

分析と対策：形が変わる言葉には、「読む」のような、「どうする」を表す言葉と、「むずかしい」「きれいだ」のような、「どのように・どのような」などを表す言葉とがあります。これらを用いて、さまざまなパターンの文を作ってみましょう。

4 物語の読み取り 63.4%

ねらい：物語の設定や、登場人物の心情の読み取りなど、物語を読む上で必要な読解の力を問う。

分析と対策：この文章は、自転車屋の空気入れをこわしてしまったと思いこんだ正九郎が、おかあさんの言いつけて自転車屋に行ったときの心の動きを中心に描かれています。の「自首をしに、交番へ入っていくスリのように」や、「はれものの中に、指をつっこまれたように」ぎょっとするという比喩表現から、その動揺を隠そうとふるまう正九郎の気持ちの動きを読み取りましょう。「空気入れ」を「はれもの」にたとえたり、空気入れが動いている様子を「がんじょうな男が歯を食いしばって」いる様子にたとえることで、どのような効果が生まれているかを考えてみましょう。

5 説明文の読み取り 57.5%

ねらい：接続語の働きや、比喩の内容など、説明文を読む上での基礎的な読解の力を問う。

分析と対策：この文章は、時計が機械生産されて一般の家庭に普及していくまでについて書かれています。ヨーロッパで作られていた職人の手作りの高価な時計は、貧乏な人にはとても買えませんでした。アメリカでは、強い組合がなかったことや、安く大量に作るためのアイデアが生まれたことで、時計が普及していきます。その経緯を文章に沿って読み取りましょう。

全体の平均点は67.6点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。